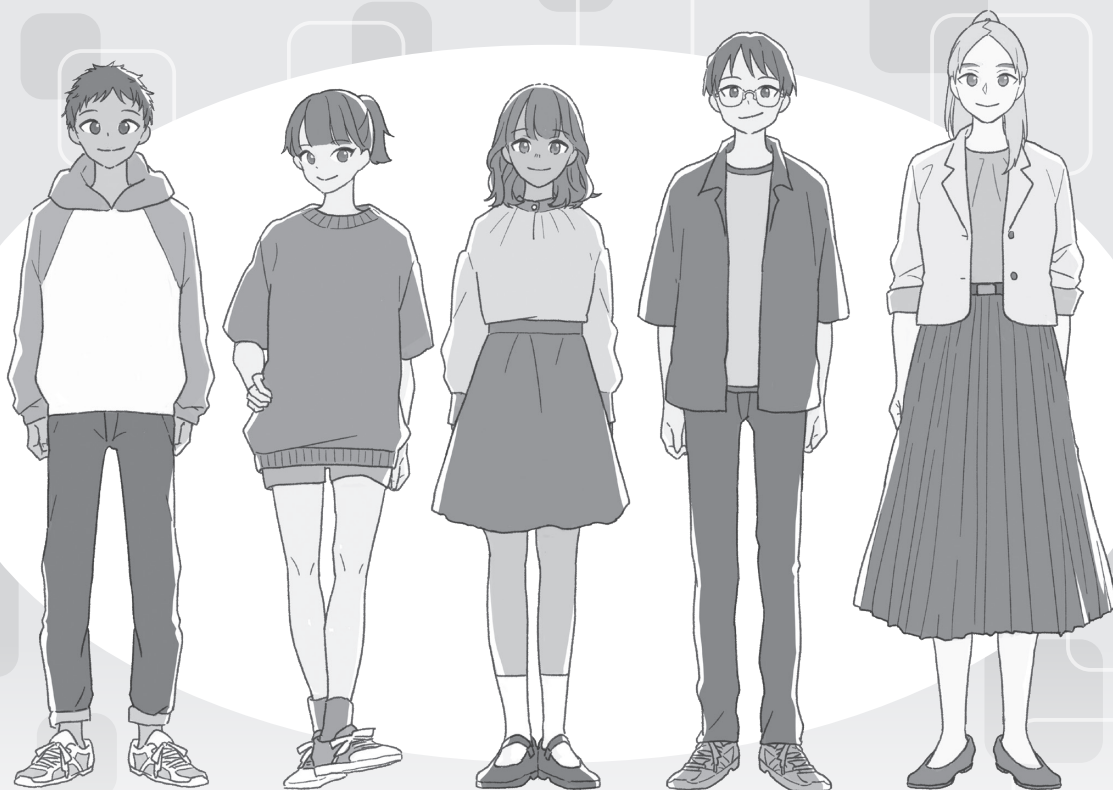


編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
105-73	中学校	外国語	英 語	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	英 語 061-92	BLUE SKY English Course 3		

1 編修の基本方針



～「青空」へ向かって飛び立つ～



教育基本法の第一章「教育の目的及び理念」における「教育の目的」と「教育の目標」を実現するため、また、日々変化している社会情勢に柔軟に対応する人物を育成するために、生徒がさまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決したり、膨大な情報を見極めながら複雑な状況変化の中で目的を再構築したりするなど、持続可能な社会の担い手となるための資質・能力を培う観点から、以下の3点を基本方針として位置づけました。

1 確かな英語力を育成する教科書

2 生徒の興味・関心と現代の諸課題に対応する教科書

3 指導と評価の一体化を体現した教科書

ICTの活用

3つの基本方針を実現させるために、授業・学習をフォローするデジタルコンテンツ(QRコード)を各所に配置し、さらに充実させました。

1

確かな英語力を育成する教科書

- コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じた言語活動を積極的に取り入れました。
- スパイラルな学びを通して知識・技能、思考力・判断力・表現力を育成することを目指しました。

● Unit 内 Part

本文、表現活動、言語活動を通して、知識・技能の習得をはかります。

Listen, Speak, Write

目的・場面・状況を設定した言語活動に取り組むことで、知識・技能の育成を図ります。

Express Yourself

ここまでの言語活動をふまえて、自分の感想や考えを表現する力を育みます。

64-65 ページ Unit 5



デジタル コンテンツ

本文・Listen の音声（速度変化可能）、Words の音声、本文のアニメーション動画、Target の解説動画

● Let's Talk、Let's Listen、Let's Write

タスク性があり、即興力を育成する言語活動を取り入れました。

▲ 88 ページ Let's Talk

Authenticity: 実生活の言語コミュニケーションに関連のある活動



デジタル コンテンツ

モデル会話・Words の音声、アニメーション動画

Meaning: 意味のあるやりとり

▲ 99 ページ Let's Listen

Outcome: ゴールのある活動、結果をもたらす活動

▲ 100 ページ Let's Write

2

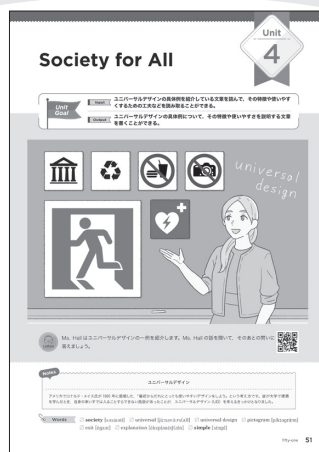
生徒の興味・関心と現代の諸課題に対応する教科書

○現代社会の諸課題に対応する題材を採用しました。

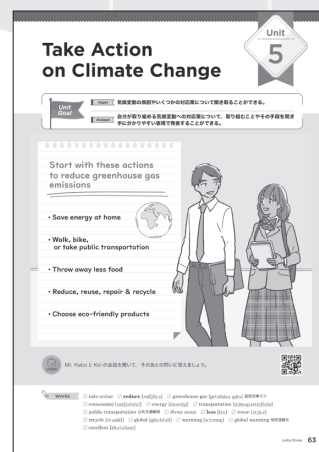
○英語圏以外も含めた外国文化の紹介や他教科との連携の要素を取り入れました。



【17 ページ Unit 2】
世界平和：広島に投下された原子爆弾の影響を通して、世界平和を守る大切さを知る。



【51 ページ Unit 4】
ユニバーサルデザイン：だれもが暮らしやすい社会のための取り組みを通して、社会の一員としての役割について知る。



【63 ページ Unit 5】
エネルギー問題：地球温暖化を防止するための方策を通して、環境を守るための新しいエネルギー開発の重要性を知る。

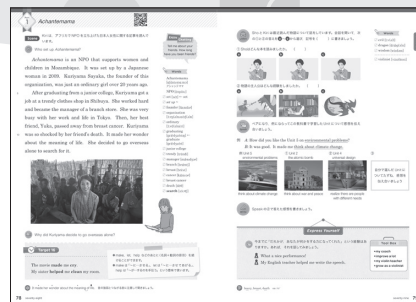
3

指導と評価の一体化を体現した教科書

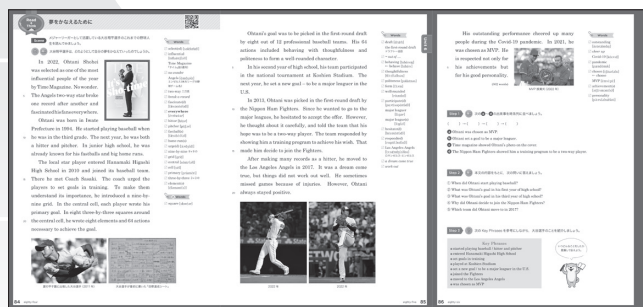
○「目標確認→指導→自己評価」が明確になるように紙面構成を工夫しました。



【77 ページ Unit 6 とびら】
Input と Output のそれぞれの目標を「Unit Goal」に示しています。



【78-83 ページ Unit 6 Part 1-3】
左ページの本文を読んだうえで、各技能の Activity を通して知識・技能の定着をはかり、最終的に自分の意見や考えを表現する活動を「Express Yourself」で示しています。



【84-86 ページ Unit 6 Read & Think】
Part 本文に関係したまとまった英文を読んで、段階ごとに要点を理解したり、詳細を理解したり、内容や自分の考えをまとめたりします。



【87 ページ Unit 6 Think & Write】
各 Unit の最後に配置されている Output 活動のページです。最後に「Check」で自分の目標達成度を自己評価できます。

2

対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全体	①コミュニケーションにおいて大切なことに触れる機会をたくさん設け、聞き手および相手に配慮した伝え方を考えさせ、豊かな情操と道徳心を培います。(第1号) ②言語活動を通じて、伝え方や使えるフレーズを学び、コミュニケーションに活かせる幅広い知識と教養を身に付けます。(第1号) また、それらを実生活で活かせる力を養います。(第2号) ③個人の考えを大切にしながら、学習の見通しを持たせたり、振り返らせたりすることで、自主及び自律の精神を養い、主体的に学習をすすめられるようにします。(第2号) ④社会の一員として、他者への敬意と共働の精神を涵養し、主体的に社会に参画する態度が身に付くようにします。(第3号) ⑤イラストや写真において、固定観念で性の区別をしない、男女の社会的役割を平等にするなど、ジェンダーへの配慮をしています。(第3号) ⑥ペアやグループで取り組むコミュニケーション活動を豊富に用意し、他者と協働することで言語面や態度面などにおける様々な気づきが生まれるようにしています。(第3号) ⑦環境問題を通して、生命の尊さや自然保護の重要性を意識し、将来に向けて共存していく態度を養います。(第4号) ⑧世界の人たちの生活や文化を知ること、幅広い知識と教養を身に付け、他国のことを理解・尊重する心を育み、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。(第1号、第5号)	全体随所
Unit 1	①トリックアートの世界の歴史を通して、世界の文化、言語などに関する幅広い知識と教養を身に付けようとする態度を養います。(第1号)	p.5-15: Trick Your Eyes with Art
Unit 2	②広島への原子爆弾投下の歴史と現在の平和活動を通して、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。(第5号)	p.17-27: Passing Down Memories
Unit 3	③動物と共存する方法や工夫を通して、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養います。(第4号)	p.31-40: Living Side by Side
Unit 4	④ユニバーサルデザインの具体例を通して、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。(第3号)	p.51-61: Society for All
Unit 5	⑤気候変動の原因やその対応策を通して、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。(第3号)	p.63-72: Take Action on Climate Change
Unit 6	⑥世界で活躍する人物の生き方や成し遂げたことを通して、個人の価値を尊重して、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養います。(第2号)	p.77-87: Working in the World

3

上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

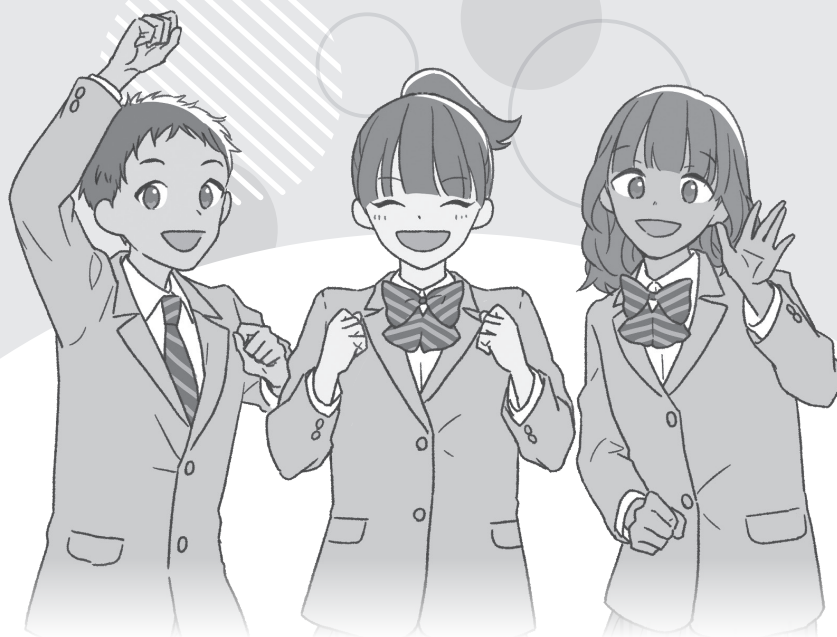
観点	留意点	該当箇所
指導経験の浅い先生方への配慮	① Unit の各 Part は見開きで2時間という余裕をもたせた時間配当をするなど着実に授業が進められるよう配慮しました。 ② 音声や映像教材など ICT を使った教材を充実させ、授業の中で適切に生かせるよう配慮しました。 ③ 教科書をより有効にご活用いただくための朱註や指導案集、ワークシート集など充実した指導書を発刊予定です。	全般
特別支援教育・ユニバーサルデザイン	① 学習のめあてを明記したりするなど、インクルーシブ教育に配慮しました。 ② 色覚特性や障害のある生徒などにもわかりやすいよう、判別しにくい配色を避けたり、シンプルなイラストを扱ったりするなどの配慮をしました。メディア・ユニバーサル・デザイン協会 (MUD) による検証を受けています。  ③ デジタル教科書や拡大教科書を用意し、生徒の様々な学習形態に対応できるように配慮しました。	全般
人権、福祉、国際理解・異文化理解、ジェンダーへの配慮	① 外国のさまざまな話題を取り上げて、自分の国との違いや共通点などに気づかせるなど、国際理解・異文化理解を深められるようにしました。 ② 教科書には多くの人種・民族の人々を登場させています。 ③ 女性は赤色・男性は青色といった固定観念で性の区別をしない、男女の社会的役割を平等にするなど、ジェンダーへの配慮をしました。	全般
家庭や地域との連携	① 自分や家族が育てた動物か植物についての発表を取り上げ、生徒が家庭における役割について意識できるようにしました。 ② ユニバーサルデザインの導入例を取り上げ、生徒が自分の住む地域の状況について意識できるようにしました。 ③ 中学校生活で打ち込んできたことを書く活動を取り上げ、生徒がこれまで打ち込んできたことに家庭や地域に関わるものがあるかどうかを意識できるようにしました。 ④ 地域奉仕活動への参画について意見を書く活動を取り上げ、生徒が自分の住む地域のために何をどの程度する必要があるのかを意識できるようにしました。	p.40: Unit 3 p.51-61: Unit 4 p.62: Let's Write 1 p.100 Let's Write 2

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
105-73	中学校	外国語	英 語	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	英 語 061-92	BLUE SKY English Course 3		

1 編修上特に意を用いた点や特色



～はばたく：仲間たちとともにゴールしよう～

1 知識・技能を確実に習得できるよう、スモールステップによる学習場面を設定する。

- 教師にも生徒にも授業の流れがイメージできる紙面構成にしました。
- コミュニケーション活動の基礎となる知識・技能を、十分親しみながら、段階を踏んで、確実に身に付くよう配慮しました。

Unit Part 1-3

Listen & Read

本文ははじめにリスニングから入ります。聞くためのポイント(問い)を読んでから本文を聞きます。

Enjoy Chatting

即興的なやりとりができるようになるための活動を示しています。

Target

Part で学習する目標文と文法の解説を示しています。

Listen

学習した目標文を聞き取る知識・技能を身に付けます。

Speak

目標文を使ったやり取りや発表をすることで、知識・技能を身に付けます。

Write

Speak で話したことを正確に書く技能を身に付けます。

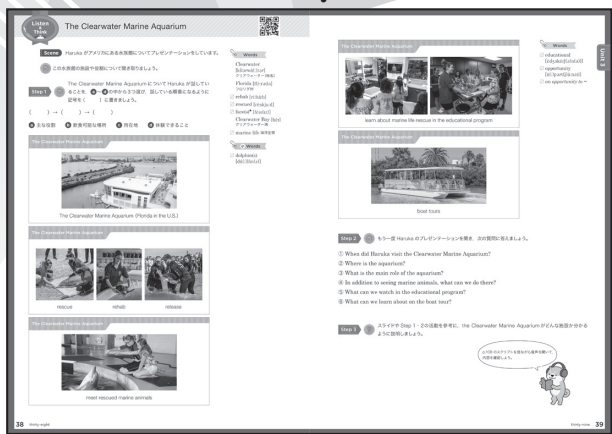
Express Yourself

Listen や Speak で身に付けた技能を使って自己表現をします。

知識・技能の定着をふまえて、思考・判断・表現の力を育成する。

- 主に日常的な話題や社会的な話題について具体的に設定された課題（コミュニケーションを行う目的や場面、状況）に応じて、定着した「知識・技能」を活用しながら情報を整理して自分の考えをまとめられる構成としました。
- 言語活動として、整理した自分の考えについて「話す」または「書く」を通して表現することができることを目標としました。

Input



▲38-39 ページ Unit 3 Listen & Think

自然との共存：動物と共存するための方法や工夫を通して、その要点をまとめる。

Think



Output



▲40 ページ Think & Speak

自分や家族が育てた生物について発表する場面を設定し、その体験について項目ごとにまとめて発表する。

各所に主体的に学習を進めることができるような工夫を配置する。

- 生徒が自身の問題として主体的に学習を進められるよう、生徒にとって身近な題材や興味深い題材の選定、場面の設定を考慮しました。
- Unit のとびらには、その Unit の目標と題材に関する情報を掲載し、音声や写真・イラストなどで確認することによって、生徒のスキーマを活性化し、その Unit を学習する意欲を持てるように工夫しました。
- 数 Unit ごとに統合的な活動である「Project」を配置し、それまでの Unit で学んだ内容を活用しながら、生徒が実際の言語の使用場面を想起して臨場感をもって学習が進められるようにしました。

Project

それまで学んだことを生かしながら、設定された課題に対して自分の考えや意見をまとめ、話したり書いたりする統合的な活動です。

目標

Project の目標は、基本的に Output（話すこと・書くこと）について設定しています。

Step 1-3

Input（聞くこと・読むこと）を通して自分の感想や考えをまとめ、相手に伝える活動を段階ごとに進めます。

90-91 ページ Project 2

Project 2

This Is All About Me - Autobiography -

自分の過去や現在のこと、15 年後の未来のことを想い描き、書くことができます。

英語の授業で、これまでの自分の歩みをまとめ、今後 15 年後の未来を想い描き、リーフレットを作ることにしました。

All About Me

Past me

Okamoto Naomi

Present

Future Me

Future

Timeline 100000 100000 100000 100000 100000 100000 100000 100000 100000 100000

Step 1 ① Naomi が「私の過去・現在・未来」について書いた文章を読んで、内容を確認しましょう。

Past I was born in Kanagawa on August 31 in 200X. Because of my father's job, my family moved from place to place. I went to elementary schools in Saitama, Yamaguchi, and Okinawa. It was always sad to say good-bye to friends, but it means I have a lot of friends living all over Japan.

Present I have been playing the drums since I was four years old. My grandfather was a drummer in a band and for my birthday he gave me the drums he used. He taught me how to play them and now I really enjoy playing them. If a week had eight days, I could play the drums more!

Future I have many dreams for my future. I will be a musician and do concert tours all over the world. My husband will write music and I will write the lyrics. When my children grow up, they will play some instruments and we will play together in concerts in many countries.

② Naomi の「私の過去・現在・未来」に書いてある内容を整理しましょう。

書く内容	
Naomi	
過去	いつ、どこで生まれたか
現	どのような思い出があるか
現	好きなことは何か
現	好きなことはどのくらい続けているか
現	将来の夢は何か
現	どのような生活を送っているか

Step 2 ① 各内容についての次の質問への答えを考えながら、Step 1 を参考にしたい内容を表にメモしましょう。

Past

- Where and when were you born?
- What did you like to do?
- What do you remember when you were in elementary school?

Present

- What do you like to do?
- How long have you been doing that?
- What are your memories of junior high school?

Future

- What do you want to be in the future?
- Where will you live?
- What will you enjoy?

書く内容

② ペアやグループでメモを見せ合い、良い点や改善点を伝えあって内容を修正しましょう。

Step 3 ③ Step 2 のメモをもとに「私の過去・現在・未来」を書きましょう。

英文を書くときは、動物の図に気を付けよう！

I was a baby.

past

I enjoyed picture books.

I am a student.

present

I enjoy video games.

I will be a graphic designer.

future

I will enjoy making online games.

Words

- autobiography [ˌɒtəˈbaɪɒɡrəfi]
- timeline [ˈtaɪmlaɪn]
- from place to place
- good-bye [ɡʊdˈbaɪ]
- drummer [ˈdrʌmə]
- husband [ˈhʌzbənd]
- lyrics [ˈlɪrɪks]

★教科書の構成

		聞く	読む	話す (やり取り)	話す (発表)	書く
導入	英語の学び方	○	○	○	○	○
Unit	とびら	○		○		
	Part 1	○	○	○	○	○
	Part 2	○	○	○	○	○
	Part 3	○	○	○	○	○
	Read / Listen & Think	○	○	○	○	○
	Think & Speak / Write	○	○	○	○	○
領域	Let's Talk			○	○	
	Let's Listen	○		○	○	○
	Let's Write		○	○		○
	Let's Read		○	○	○	
復習	Focus on Form	-	-	○	○	○
統合	Project	○	○	○	○	○
補充	Sing a Song、Listening Script、基本文のまとめ、形容詞・副詞比較変化表、不規則動詞変化表、 符号の使い方、数字の読み方、Word Box、Word List、CAN-DO List					

★教科書の観点別特色

観点	留意点	該当箇所
教育基本法・学習指導要領の 遵守	①教育基本法及び学習指導要領で示された目標を達成するため、次の基本方針のもと、編修しました。 ・生徒が主体的に関わりながら学びを進める。 ・コミュニケーションを図るための基礎的な資質・能力を身に付ける。 ・知識・技能を活用して、思考力・判断力・表現力を育成する。	全般
コミュニケーション活動・ 4技能5領域への対応	①生徒に身近な題材を使った コミュニケーション活動 を通じて英語の学習ができるように配慮しました。 ②学期末の Project では、「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の 4技能5領域を統合する活動 を設定し、コミュニケーション活動を図れるようにしました。 ③ 4技能5領域 の内容を各 Unit 内で適切に取り上げ、言語活動に 4技能5領域のマーク を表示して、身に付ける知識・技能を明確にしました。	①全般 ② p.44-45, 90-91 ③全般
【知識及び技能】の習得、 【思考力・判断力・表現力等】 の育成、 【学びに向かう力・人間性等】 の涵養・学習評価への連携	①【知識及び技能】細かいステップを踏んだ活動を通じて、 知識・技能 の評価ができるようにしました。 ②【思考力・判断力・表現力等】各 Unit 末の Think & Speak/Write には、Unit で学んだ言語材料を使って 場面や状況に応じて思考・判断・表現する活動 を設け、 「思考・判断・表現」 の評価ができるようにしました。 ③【学びに向かう力・人間性等】各 Unit の活動が終了する最終段階において、 Check として生徒自身で評価することで学習を振り返る機会を設け、 「主体的に学習に取り組む態度」 を見取ることができるようになりました。	①全般 ②③ Unit 末

学習内容定着への配慮	①数 Unit ごとに配置した Focus on Form では、Unit で学習した文法項目についてより詳しく整理して学ぶことができます。 ②巻末の Can-Do List で学習事項を振り返り、基礎・基本の定着を図ることができます。 ③生徒が巻末の Word Box などを参考にして言語活動を行ったり、Word List で語彙の意味を確認したりすることを通して、基礎・基本の定着が図れるようにしました。	① p.28-29, 43, 74-75, 97 ②③巻末
小中・他教科の連携	①欄外の Words には、小学校英語の授業にて音声で慣れ親しんだ単語を新出単語とは別に表示しました。 ②「美術、歴史、社会福祉、地球温暖化」を扱った題材を取り上げました。	①全般 ②Unit 1, 2, 3, 4, 5
内容・配列・分量	①生徒の身近な場面から導入を図るなど、自然に英語に接することができるよう配慮しました。 ②時間内に授業ができるような題材・分量を設定しました。 ③3年間で約 2,400 語程度(小学校既習語を含む)に触れられるようにしました。	全般
1人1台端末環境への対応	①音声や動画などデジタルコンテンツを使って繰り返し学習が有効な箇所には、QRコードを明示しました。また、QRコード対応機器以外でもデジタルコンテンツを活用できるように、「この教科書の使い方」のページに URL を掲載しました。 ②音声などを用いた教材を随所に設定し、臨場感をもってコミュニケーション場面に即した音声に触れることができるようにしました。 ③生徒の書き込みが保存できる学習者用デジタル教科書を発刊します。	全般
オールイングリッシュへの配慮	①小学校から慣れ親しんでいる教室英語を活用して授業を進めやすい題材を扱いました。 ②Let's Talk では、即興的なやり取りを促せる題材を設定しました。	全般
家庭学習・自学自習への対応	① Unit を通しての目標を Input と Output の技能それぞれで設定し、Unit とびらで Unit Goal として明示することで、生徒自らが見通しを立てたり、振り返ったりできるようにしました。 ②紙面に適宜 QRコードを掲載して、家庭でも音声を使って学習ができるよう配慮しました。 ③音声教材については、速度調整できる機能を付加することで、学習者ごとのペースで利用可能な個別最適化を目指しました。 ④「英語の学び方」を配置し、効果的な英語学習のヒントを紹介しました。	① Unit 該当箇所 ②③④全般
持続可能な開発目標 (SDGs) の扱い	①目標項目 7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」、11「住み続けられるまちづくりを」、13「気候変動に具体的な対策を」、14「海の豊かさを守ろう」、15「陸の豊かさを守ろう」、16「平和と公正をすべての人に」に関係する話題を取り上げました。	① Unit 2, 3, 4, 5
全国学力・学習状況調査への対応	①各 Unit の間に Let's Talk または Let's Write を設け、重要な要素であるアウトプットの技能を集中的に養うためのコーナーを用意しました。	① Unit 間該当箇所
文字・印刷・用紙・製本	①余白部分、行間スペースに配慮し、文章が読みやすくなるように配慮しました。 ②大きな判型 (A4 判)を採用してイラストや写真を効果的に掲載することで、学習効果が上がるよう配慮しました。 ③針金を使わない堅牢な PUR 製本を採用し、ページを大きく開けるよう配慮しました。 ④書き込みやすく消しやすい軽量で丈夫な用紙を採用しました。 ⑤アレルギーや環境に配慮し、植物油インキ・再生紙を使用しました。	全般

2 対照表

	図書の構成・内容・言語材料	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Unit 1 Trick Your Eyes with Art	現在完了 完了(肯定・疑問・否定) / 現在完了 経験(肯定・疑問・否定) 【Read & Think / Think & Speak】	(1) アイウエ、(2) アイウ、 (3) ①アイウエオカ、 ②アイ	p.5-15	10
Unit 2 Passing Down Memories	現在完了 継続(肯定・疑問) / How long have you ~? / 現在完了進行形 【Read & Think / Think & Write】	(1) アイウエ、(2) アイウ、 (3) ①アイウエオカ、 ②アイ	p.17-27	10
Unit 3 Living Side by Side	S+V+O+O (that 節) / S+V+O (what などの節) / S+V+O+O (what 節) 【Listen & Think / Think & Speak】	(1) アイウエ、(2) アイウ、 (3) ①アイウエオカ、 ②アイ	p.31-40	9
Unit 4 Society for All	現在分詞の後置修飾/過去分詞の後置修飾/ 接触節(人と物) 【Read & Think / Think & Write】	(1) アイウエ、(2) アイウ、 (3) ①アイウエオカ、 ②アイ	p.51-61	10
Unit 5 Take Action on Climate Change	関係代名詞主格 who / 関係代名詞主格 that/which / 関係代名詞目的格 that/which 【Listen & Think / Think & Speak】	(1) アイウエ、(2) アイウ、 (3) ①アイウエオカ、 ②アイ	p.63-72	9
Unit 6 Working in the World	S+V+O+C (原形不定詞) / 仮定法過去 if (一般動詞・be 動詞) / 仮定法過去 I wish 【Read & Think / Think & Write】	1) アイウエ、(2) アイウ、 (3) ①アイウエオカ、 ②アイ	p.77-87	10
Let's Talk	買い物のトラブル/乗り物を使った道案内/誘いを断る	(1) アイウエ、(2) アイウ、 (3) ①アイウエオ、②アイ	p.41/88/98	3
Let's Listen	Rank Items in Order of Importance / Pay It Forward / Fighting Global Warming	(1) アイウエ、(2) アイウ、 (3) ①アイウエカ、②アイ	p.42/89/99	3
Let's Write	中学校生活で打ち込んできたことを書こう/ 投稿文への意見を書こう	(1) アイウエ、(2) アイウ、 (3) ①アウカ、②アイ	p.62/100	2
Let's Read	The Wizard of Oz / English Is a Tool for International Communication / Rocket Boys	(1) アイウエ、(2) アイウ、 (3) ①アウエオ、②アイ	p.46-50/ 92-96/ 101-107	14
Project	Interview with Our ALT / This Is All About Me -Autobiography-	(1) アイウエ、(2) アイウ、 (3) ①アイウエオカ、 ②アイ	p.44-45/ 90-91	6
Focus on Form	これまで学んだ言語材料の復習	(1) イウエ、 (3) ①アイウエオカ、 ②アイ	p.28-29/43/ 74-75/97	4
合 計				90

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
105-73	中学校	外国語	英 語	第 3 学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	英 語 061-92	BLUE SKY English Course 3		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
102	Let's Read 3 『Rocket Boys』	1	2内容 (1) エ ※オリジナル版の著者による原文を利用した結果、上記に含まれない「分詞構文」、「関係代名詞 what」、「過去完了形」、「前置詞の目的格となる疑問詞節」を本文で扱っております。	0.25
103	Let's Read 3 『Rocket Boys』	1	2内容 (1) エ ※オリジナル版の著者による原文を利用した結果、上記に含まれない「前置詞の目的格となる疑問詞 to 不定詞」、「過去完了形」を本文で扱っております。	0.25
104	Let's Read 3 『Rocket Boys』	1	2内容 (1) エ ※オリジナル版の著者による原文を利用した結果、上記に含まれない「過去完了形」、「強調構文」を本文で扱っております。	0.25
105	Let's Read 3 『Rocket Boys』	1	2内容 (1) エ ※オリジナル版の著者による原文を利用した結果、上記に含まれない「関係代名詞の非制限用法」、「SVC + whether 節」、「知覚動詞 + 原形不定詞」を本文で扱っております。	0.25
106	Let's Read 3 『Rocket Boys』	1	2内容 (1) エ ※オリジナル版の著者による原文を利用した結果、上記に含まれない「SVC (疑問詞節)」、「過去完了形」、「関係副詞 (when)」を本文で扱っております。	0.25
合 計				1.25

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容